

等ト標榜シテ會社糾彈演說會ヲ開催ニシルカ(十五
日夜ハ聽衆約六百名十六日夜ハ約百名)第二日ノ演說全
半ハニ於テ「小野田炭坑全山勞働者大會」ヲ擧ケ山代ノ
復職、賃銀ニ割値上ケ等十五項ヨリ成ル要求事項
ヲ決議シテ「會社」要求スベキコトヲ可決セリ

(四) 日本鉦夫組合側演說會開催

前記山代、渡部等ノ策動ニ依リ全山勞働者勸誘
氣運濃厚トナリマ、アルニ鑑ミ全鉦山ニ支部ヲ設ケ
日本鉦夫組合ニ於テ「評議會系組合勢力」發ル

一 應リ一月廿日及二十一日ノ兩日日本鉦夫組合入山支部及
山代ノ自宅ニ於テ勞働問題演說會ヲ開催シ本部
貧高梨二男、関谷博及日本労農党書記長 三輪寿
莊等出席シテ爭議ノ應援ト組合勢力ノ宣揚ニ努ムル
處アリタリ(廿日夜ノ聽衆約二〇〇名二十一日夜約七〇名)

(ハ) 評議會側ノ會社糾彈演說會開催

爭議氣分ノ高潮ニ伴ヒ評議會對日本鉦夫組合ノ
暗闘又其度ヲ加ヘ評議會側ニアリテハ更ニ統一運動、関
東同盟幹部鈴木八郎、仙臺一般勞働者組合野下勝